

2017 vol.202 APR

# SOUSAKU

創作手工芸



公益財団法人日本手工芸作家連合会

## 『日本手工芸作家連合会』創立50周年に寄せて

公益財団法人日本手工芸作家連合会

会長 花 村 邦 昭



人は三つの次元世界を生きています。一つは、情動・情念の感性的世界です。二つは、身体知・言語知からなる理性的世界です。三つは、規範的に秩序づけられた悟性的世界です。そして、この三つの次元世界は相互に重なり合い、相互作用し合いながら、われわれの日常を多彩にいろどり、そこに多様な生活世界を切り開きます。つまり、われわれの生活世界は、この三次元世界によって骨太く貫かれていると言えます。

このプロセスで大事なのは、根源にある情動・情念が身体を介して表象化され、翻ってそれがまた生命的活性（情動・情念）を生き生きと賦活する点にあります。そして、このプロセスを駆動する力の源泉は「身体」にあります。

「手工芸」文化の伝統は、その身体操作（手仕事）の中核に位置づけられます。すなわち、「手工芸」は“もの”を作り“もの”を操作する「技術」と、自己の身体振舞いを制御する「作法」との総合です。その身体操作（手仕事）を通して自己の内面を省み、意識に映る形を明確にし、真に描きたいイメージを模索するための「方法・

手続き」でもあります。

しかし現実はどうでしょうか。機械工業的大量生産と市場のグローバル化によって「もの」は画一的に規格化され、つれて各地域において豊かに伝承されてきた「手工芸」文化の生きた伝統も失われようとしています。「手工芸作品」は日常の生活世界から切り離され、非日常の時間と空間において単に飾られ、鑑賞される対象でしかなくなろうとしています。身体と素材の格闘の現場が見えにくくなり、手仕事のもつ内面的な力（“もの”的力）が弱まって来ているのです。

では、その「手工芸」文化の伝統（“ものの力”）を蘇らせるにはどうすればよいでしょうか、答は一つしかありません。資本主義をその原点に回帰させることです。資本主義の原点は人間生活文化の発展・向上にこそあるという、その原点への回帰です。付加価値生産の源泉はつねに「文化」にあります。文化から根切りにされた「もの」はやがて廃れます。規格化された単一の「もの」の生産には限度があります。目指されるべきは生命活動の根源に根差した“もの”的持続的産出です。しかし、それにはまだ乗り越えねばならぬ多くの障壁があります。紆余曲折もあるでしょうし時間もかかります。問題は、その時まで、「手工芸」文化の伝統を護り続けることです。

わが「日本手工芸作家連合会」が果たすべき役割はそこにあります。来るべき＜資本主義の文明史的転換＞のその日まで、「手工芸」文化の豊かな源泉を涸らさぬよう、そのための一翼を担い続けることです。

過去50年に亘って、先人たちが受け継いで来られた歴史と伝統の重みを改めて痛感いたします。

# 第49回 創作手工芸展 講評

## 審査委員長 大 矢 紀 (日本美術院同人)



**文部科学大臣賞  
「雪花火」土門玲子**  
周辺の白のグラデーションから中心に向かう色調の流れ。そしてまた中央から拡散される大小のリング。雪の中で打ち上げられる花火の輝きが作者の心象風景とな

なって見事に表現されている。直線構成を一般とする遊佐刺しに円形刺しを取り入れた意欲的な作品である。

(日本女子大学名誉教授 東京国立博物館  
客員研究員 小笠原小枝)

**東京都議会議長賞 「秋の夜長」 飯村由美**

「光」を象徴するような、黄金に近い黄色を用いて、白地の部分にも「花と光」を思わせる「一針一針」技によって、パッチワーク作品の楽しさと暖かさを醸し出している。

(多摩美術大学芸術学科教授  
芸術人類学研究所所長 鶴岡真弓)

**大妻コタカ賞 「遊佐刺し子百文様比照」**

遊佐刺し子教室36名 代表 土門玲子

遊佐刺し子の百文様を一枚一枚丁寧に確りとした技術で仕上げられ、一人一人の基本的な技量を感じさせてくれます。

これらの布地をバランス良く一つに纏められ、センスある落ち着いた、現代的な作品になっています。密度の高い力作です。

(漆芸作家 田口義明)

**日本手工芸作家連合会会長賞 「ちえっくこれくしょん」 藤井一恵**

一枚一枚にさまざまな思いが込められたチェック生地。その華やかな取り合わせを白い格子(リボン)が引き締めています。心を和ませ、気持ちをすっきりさせる見事な作品です。

(公益財団法人日本手工芸作家連合会  
会長 花村邦昭)

**審査委員長賞 「La tavola del fine settimana  
～週末の食卓～」 楠 敦子**

白の細い糸を使いすばらしいテーブルクロスを花模様でかざる。四面どこから見ても美しく技術的にも卓越したものを感ずる。

今後益々健康に気を付け高見を目指しがんばってほしい。出きることならもう少し大作を見てみたいものである。

(公益財団法人日本美術院同人)

(公益財団法人川崎市文化財団理事 大矢 紀)

奨励賞は4点ですが、上席の作品と比べてもほとんど横一線に近く、近い将来的には大臣賞も夢ではないと思います。「空環」の齋藤智明さんの作品は箱根細工をより精密に又爽やかなデザインで表し、「春秋のハーモニー」大浜詩子さんの作品はやわらかな表現の中に童画の様な絵を配して楽しくほのぼのとした作品に仕上げている。欲を言えばもう少しインパクトを感じさせてくれる作品をと願うところです。崎村倭文子さんの「未央柳」は黒地のバックを背景に(中々手がこんでいる)黄色の花を上段の花色と中段より下に変化させ、より生命感を表わしている。「MEN'S こぎん」青木悦子さんの作品は今日流に服装の右前を伝統のこぎん刺しで刺繡し意外性を前面に出している。又合わせて肩かけバッグも同一デザインで統一し地色が黒い為一段とシックに見えます。佳作は「光と影」の田村紀子さん、「流麗」木村静枝さん、「手描友禅染着物」後藤惠子さん。技術賞は「羽ばたいて」手塚慶子さん、「喜色」池田節子さん、「ギンドロの庭」保田千恵子さん、そして新人賞は川延節子さん他、「生きる」安東優希子さん、「牡丹と黒猫」三橋編弓さん。特別賞には「まわれ、まわれ、風車」の阿部敬子さん、「七色の水面に魅せられて」の桜庭あい子さん等20名の人々でそれぞれにユニークで創意工夫をこらした作品でこれからが楽しみな作家群である。入選作の中にも惜しい作品ある事つけ加えます。(全作品は図録に掲載)

# 第49回創作手工芸展 受賞作品



文部科学大臣賞  
「雪花火」  
土門玲子

この度の受賞作品は、伝承された刺し手の針目による、感性のみで刺し繋げる遊佐刺し子ならではの発想から「横へ刺す常識を丸く刺す」文様への初めての挑戦でした。仕上がったようで仕上がるしない。暗がりを手探りで手直ししながら4年手がけし続けました。雪花火にはそんな思いも隠されています。栄誉ある受賞を励みに、生徒達の育成、また「活きた手工芸」へ進展すべく努めます。

審査員の先生、(公)日本手工芸作家連合会理事、展示会へお手伝いくださいされた役員の皆様のご苦労に感謝と、これからのご発展を願い、心から御礼を申し上げます。



大妻コタカ賞  
「遊佐刺し子百文様比照」  
遊佐刺し子教室36名  
代表 土門玲子

東京都議会議長賞  
「秋の夜長」  
飯村由美



審査委員長賞  
「La tavola del fine settimana ~週末の食卓~」  
楠敦子



日本手工芸作家連合会会長賞  
「ちえっくこれくしょん」  
藤井一恵

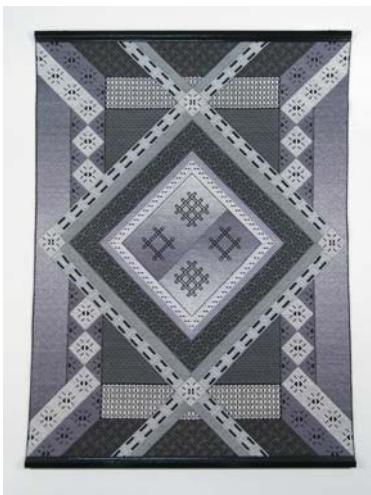


奨励賞  
「空環」  
齋藤智明

奨励賞  
「春秋のハーモニー」  
大浜詩子

奨励賞  
「未央柳」  
崎村倭文子

奨励賞  
「MEN'Sこぎん」  
青木悦子



佳作  
**「光と影」**  
田村 紀子



佳作  
**「流麗」**  
木村 静枝



佳作  
**「手描友禅染着物 母のために色留袖 松風」**  
後藤 恵子



**新人賞 「こぎん刺しバッグ」 川 延 節 子**

勧められて初めて参加し、新人賞を戴き只々驚き感激いたして居ります。青森県岩木山へスキーに行った時に、こぎん刺しに魅せられ今は亡き、こぎん刺しの第一人者である、前田セツ先生に学びました。私は実用的な物のみ作成しておりますが、これからもこの方針で参りたいと思っています。賞を戴き尚一層努力致します。有難うございました。

**新人賞 「生きる」 安 東 優希子**

この度は新人賞という素晴らしい賞を頂く事ができ、感激しております。この作品は大学の授業で制作したもので、糸を染め、織りあげ縫製しました。織りかた、染め方など何もわからなかった状態から何とか作った作品で、とても思い入れがあります。そんな思い入れのある作品で賞を頂く事ができ、とても嬉しく思います。ありがとうございました。



**新人賞 「牡丹と黒猫」 三 橋 編 弓**

この度は新人賞をいただきましてありがとうございます。この作品は「彫紙（ちょうし）アート」という技法でつくりました。まだ新しいジャンルの手工芸ですが出来て9年、紙を彫り抜いて作り出す楽しさと色彩の美しさに魅せられてこつこつと続けてきました。この受賞を励みにまた1作品1作品心を込めて作り出したいと思います。ありがとうございました。



# 平成28年度 活動報告

## ●第49回創作手工芸展 授賞式・懇親会のご報告

第49回創作手工芸展の授賞式（昨年11月12日午前11時半～12時半）並びに懇親会（同13時～15時）は、上野公園内のレストラン精養軒にて盛大に開催されました。

授賞式では、出席入賞者全員の氏名が高らかに読み上げられその場で起立・立礼される厳かな雰囲気から式典が始まり、順次各賞の表彰が行われ、最後に文部科学大臣賞受賞者が顕彰されるという順序で順調に進行いたしました。

次いで審査委員長の大矢紀先生から、年々レベルが上がってきてている中での審査の力点等についてご講評をいただき、出席者は次の作品作りへの思いを新たにいたしました。

最後に受賞者を代表して、文部科学大臣賞受賞の栄に輝かれた山形県の土門玲子さんからお礼の言葉が述べられ、授賞式は無事終了となりました。

引き続き不忍池が見下ろせる会場へと場所を変えて懇親会が始まり、花村会長ご挨拶に続いて大矢先生による乾杯のご発声で会場は一気に和気藹々の雰囲気に包まれ、参加者全員がより良い作品作りに向けて益々研鑽を重ねていこうとの思いのもと、めでたくお披瀬喜となりました。



## ●秋篠宮妃殿下、第49回創作手工芸展を御高覧

平成28年11月10日（木）午後4時30分 東京都美術館で開催中の第49回創作手工芸展に秋篠宮妃殿下が初めてお成りになりました。文部科学大臣賞受賞 遊佐刺し子「雪花火」土門玲子会員の作品をはじめ、全作品を御高覧になりました。秋篠宮妃殿下とご縁のある土門玲子会員の解説に笑みを浮かべられ、会場はさわやかな雰囲気に包まれました。

また、秋篠宮妃殿下は、作家の方々が驚くほどの専門的なご質問をされ、手工芸にご造詣が深く、敬愛と感動に満ちたひと時となりました。

## ●チャリティーバザー報告

平成28年11月9日～15日開催の「第49回創作手工芸展」に於いて、当連合会会員有志により同時開催されたチャリティーバザーは、大盛況のうちに終了いたしました。ご参加、ご協力いただきました皆様に御礼申し上げます。

売上金の一部を熊本地震義援金として熊本県に寄付し、この企画の目的を達成することができました。また、今年度の「第50回記念創作手工芸展」に於いてもチャリティーバザーを開催いたしますので会員の皆様のご参加をお待ち申し上げます。詳細は、連合会事務局まで。

# お知らせ・会員だより

## ●平成29度 所属作家作品展他お知らせ（前期4月～10月）

作家・講師	テ　ー　マ	会場(所在地)	会　期
リビエール	フラワードリーム2017 in 東京ビックサイト	東京国際展示場	4月22日・23日
福田　り　お	アート&手作りバザーコレクション in 大阪タカシマヤ	(大阪市中央区難波5-1-5)	5月31日～6月5日
田中　ひとみ	第25回創作手工芸梅支部展	NHK福岡放送センターギャラリー2F	10月11日～15日
石田　則　子	シャドウボックス展	市川市東部公民館&昭和学院短期大学	10月28日・29日

### ※会員の皆様へのお願い※

毎年作品展・本の出版・ボランティア活動（依頼されて出向）等どのような活動でも結構です。機関誌に掲載してご案内いたしますので事務局にお知らせくださいますようお願い申し上げます。

## ●資格取得へのおすすめ

本連合会は、手工芸教育の普及発展を目的として、手工芸指導者の養成教育としての資格認定・免状授与を行っております。資格取得後は手工芸セミナーの指導者、社会教育における中学校・高等学校での指導者、生涯教育における指導者などの派遣を通じて、さまざまな手工芸分野で活動し、技術の向上に貢献しております。また、支部・教室で技術を習得することも出来ます。資格取得は生涯学習の宝です。

## ●平成28年度資格免状取得者

資格名	資格者氏名	科　　目	資格名	資格者氏名	科　　目
助教授	水谷　いずみ	日本刺繡	高等科	ピヨジヨン	フラワーデザイン
講　師	木村　静枝	ハーダンガー刺繡	普通科	佐藤　由美子	フラワーデザイン
講　師	村上　裕子	フラワーデザイン	普通科	桜庭　あい子	遊佐刺し子
高等科	佐藤　由美子	フラワーデザイン	普通科	大前　良子	遊佐刺し子
高等科	桜庭　あい子	遊佐刺し子	普通科	田中　澄江	欧風刺繡
高等科	大前　良子	遊佐刺し子	普通科	三登　朝香	日本刺繡
高等科	田中　澄江	欧風刺繡	普通科	ピヨジヨン	フラワーデザイン
高等科	三登　朝香	日本刺繡			

## ●平成29年度 講習会のお知らせ（前期4月～10月）

開催日	講　師　名	テ　ー　マ	会　場	時　間
4/8(土)	庄子　悦子	粘土でつくる動物	京橋越前屋ビル	10：30～15：00
6/8(土)	神山　康子	カルトナージュ	京橋越前屋ビル	10：30～15：00
7/8(土)	神田　永美子	モラ	京橋越前屋ビル	10：30～15：00
9/9(土)	中嶋　留美子	組紐（飾り結び）	京橋越前屋ビル	10：30～15：00
10/14(土)	福田　り　お	羊毛フェルト	京橋越前屋ビル	10：30～15：00

# 事務局だより

## ●(公募)第50回記念創作手工芸展のご案内

会期：平成29年5月29日(月)～6月4日(日)  
会場：東京都美術館 ギャラリーC  
募集期間：平成29年2月13日(月)～5月9日(火)  
併催：50周年記念特別展示として過去の優れた作品を展示します。

・ギャラリートーク開催：6月1日(木) 13:00～13:30

「チャリティーバザー」同時開催

第50回記念創作手工芸展に於いてチャリティーバザーを開催いたしますので、会員の皆様のご参加お待ち申し上げます。

## ●創立50周年記念研修会開催のご案内

当連合会創立50周年を記念し、本年9月7日(木)～9日(土)の3日間、山形県にて「山形における創作・精神文化の系譜」というテーマでの研修会を実施致します。参加ご希望の方は、当連合会のホームページをご覧の上、お申込み下さい。

## ●創立50周年記念式典並びに懇親会のご案内と参加者募集のお知らせ

日時：平成29年6月3日(土) 午前10:30～午後3:20  
会場：上野精養軒（東京都美術館より徒歩5分）  
第一部：第50回記念創作手工芸展受賞者表彰式  
第二部：創立50周年功労者等感謝状授与式  
第三部：創立50周年記念講演 講師 多摩美術大学教授 芸術人類学研究所長 鶴岡真弓先生  
第四部：懇親会 午後1:20～3:20（参加費￥13,000）  
お問合せ：事務局

## ●50周年記念御寄附者 H28年10～H29年2月（50音順・上：団体／下：個人、カッコ内は寄附金口数）

梅支部様(5) 原田教室様(10)  
青木悦子様(1) 青木時子様(4) 一ノ瀬治子様(2) 海老澤光夫様(6) 小川幸子様(1)  
菅原淳子様(10) 田村紀子様(2) 堤千代子様(1) 三和正明様(6)

（ご芳志をいただきまして厚く御礼申し上げます）

## ●50周年記念寄附金のお願いについて

本連合会は昨年12月に創立50周年を迎えました。これも偏に皆様方のご支援ご協力の賜と厚く御礼を申し上げます。公益活動のさらなる推進のため、以下の要領にてご寄附を募らせて頂いております。

引き続き何とぞご協力のほどよろしくお願ひ申し上げます。

【ご寄附受付期間】平成28年4月～平成29年12月

【ご寄附金額】（個人）一口5,000円（一口以上）／（法人）一口10,000円（一口以上）

【お払込方法】郵便局備付けの「払込取扱票」の（払込口座記号・番号）欄に「00100-5-85006」、  
(加入者名)欄に「公益財団法人日本手工芸作家連合会」とご記入ください。

【その他】ご不明な点は事務局（毎週月水金の10時から16時まで）にお電話にてお問合せ下さい。

## ●資格取得・修了証の登録料割引キャンペーン

当連合会では会員の皆様への資格取得を奨励しております。平成29年度も昨年度に引き続き、登録料割引キャンペーンを実施しております。この機会にワンランクアップにチャレンジしてみてはいかがでしょうか。（詳細は事務局まで）

### ●次回発刊 SOUSAKU 203号は平成29年10月を予定しています。

会員の皆様の活動状況を掲載しますので、8月末までにお知らせ下さい。

### ●表紙作品：土門玲子 「雪花火」

（第49回創作手工芸展 文部科学大臣賞受賞）

### 編集後記

当連合会の運営は会員の皆様からの会費、ご寄附により支えられています。手工芸の世界に関わっている皆様、愛好家の皆様、これからもご支援ご協力のほどよろしくお願ひ申し上げます。

発行日／2017年4月吉日

発行／公益財団法人日本手工芸作家連合会

〒101-0052

東京都千代田区神田小川町3-6-10

MOビル 407号室

TEL 03-5282-5141 FAX 03-5282-5140

E-mail:info@syukogei-sakka.or.jp

URL http://www.syukogei-sakka.or.jp/